

関東地方整備局同時発表

平成27年3月20日

道路局 国道・防災課

圏央道 寒川北IC～海老名JCT間 3月8日開通

＜開通1週間後の速報＞新たに開通した圏央道の交通量をお知らせします

～ つながる。まわる。圏央道。～

国際競争力と成長を支える道路

標記について、別紙のとおり発表されましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、関東地方整備局、中日本高速道路株式会社の問い合わせ先におたずね願います。

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 国道・防災課 企画専門官 四童子 隆

TEL : (03) 5253-8111 (内線37832)

直通 03-5253-8492 FAX : 03-5253-1620

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 副所長 佐藤重孝

調査課長 藤平忠晴

TEL : 045-311-2981 (代表)

中日本高速道路株式会社 東京支社 広報・CSチーム

TEL : 03-5776-5257 (マスコミ専用)



記者発表資料

けんおうどう さむかわきた えびな
圏央道 寒川北IC～海老名JCT間 3月8日開通

＜開通1週間後の速報＞新たに開通した圏央道の交通量をお知らせします

～つながる。まわる。圏央道。～
国際競争力と成長を支える道路

- 開通後1週間の交通量は平均17,100台。
- これまで開通していた隣接区間の交通量は、大幅に増加。
- 圏央道に並行する国道129号、県道相模原茅ヶ崎線で交通が転換。
- 開通による移動性の向上に伴い、新たな観光需要の喚起などの効果も現れ始めています。

【圏央道 寒川北IC～海老名JCT間 の開通後1週間の交通量】

日付	日別交通量 寒川北IC～海老名JCT間	備考	天候 ^{※1}
3月8日(日)	2,300台	21時開通(3時間交通量)	曇一時雨
3月9日(月)	14,900台	24時間交通量	雨時々曇
3月10日(火)	15,400台		曇時々晴一時雨
3月11日(水)	15,800台		快晴
3月12日(木)	15,800台		晴
3月13日(金)	17,100台		晴
3月14日(土)	21,200台		曇一時晴
3月15日(日)	19,700台		曇時々晴
3月16日(月)	14,900台		曇一時雨

※1 天候は横浜市の屋の天気概況を記載（気象庁ホームページより）

※2 開通1週間後の交通量は平成27年3月9日（月）～15日（日）の日交通量の平均値

◇ 開通による主な効果 ◇

圏央道の整備により、東名高速や中央道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。

発表記者クラブ

国土交通省記者会 国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ
 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会 相模原記者クラブ

お問い合わせ先

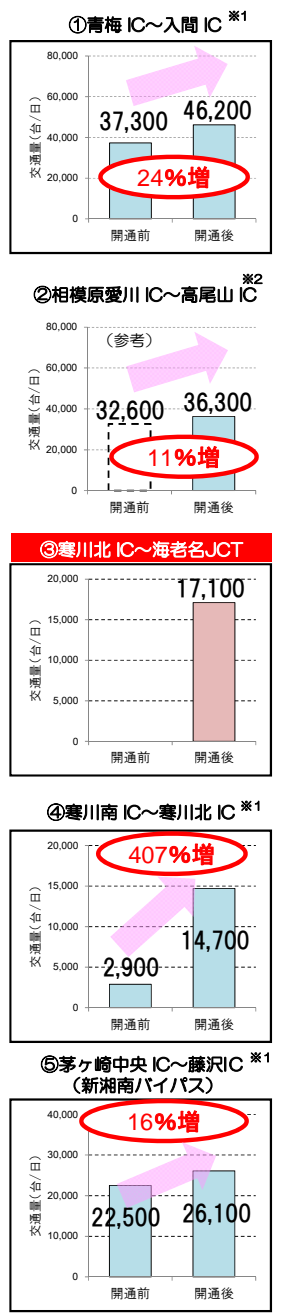
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981（代表）
 副所長 佐藤 重孝 調査課長 藤平 忠晴
 中日本高速道路株式会社 東京支社 広報・CSチーム 電話 03-5776-5257（マスコミ専用）

整備効果①

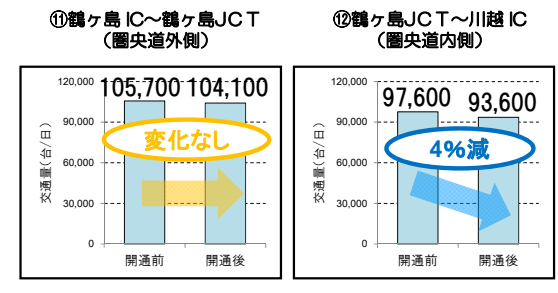
開通直後の交通状況

- 圏央道の開通後の日交通量は、平均17,100台。
- これまで開通していた隣接区間及び新湘南バイパスの交通量は対前年同週比較で、大幅に増加。
 圏央道（寒川南IC～寒川北IC間）：2,900台→14,700台[407%増]
 （茅ヶ崎中央IC～藤沢IC間）：22,500台→26,100台[16%増]
 新湘南バイパス（茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸IC間）：8,700台→10,900台[25%増]
- 放射方向の高速道路では、圏央道外側・内側ともに対前年同週比較で、大きな変化なし。
 関越道（鶴ヶ島IC～鶴ヶ島JCT間）：105,700台→104,100台[変化無し]
 （鶴ヶ島JCT～川越IC間）：97,600台→93,600台[4%減]
 中央道（相模湖東IC～八王子JCT間）：50,200台→49,100台[2%減]
 （八王子JCT～八王子IC間）：41,300台→42,600台[3%増]
 東名高速（秦野中井IC～厚木IC間）：97,300台→100,300台[3%増]
 （横浜町田IC～海老名JCT間）：136,700台→130,800台[4%減]

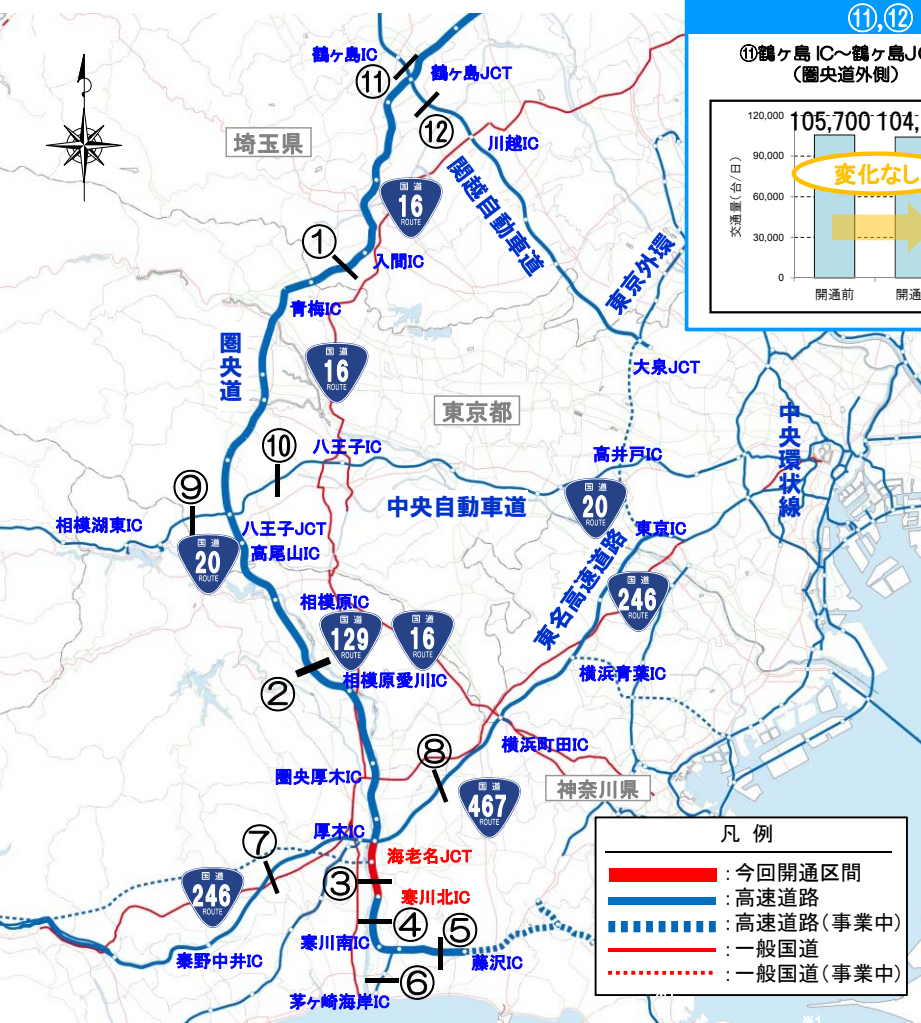
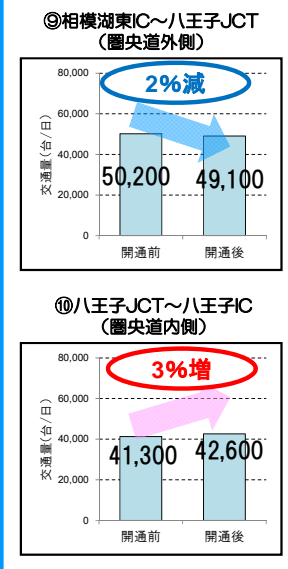
①,②,③,④,⑤ 圏央道



⑪,⑫ 関越自動車道



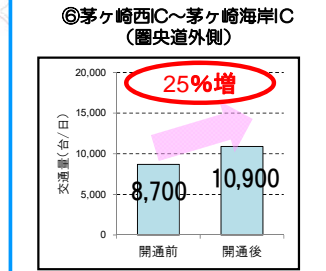
⑨,⑩ 中央自動車道



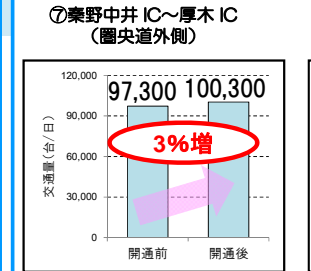
凡例

- 今回開通区間
- 高速道路
- 高速道路(事業中)
- 一般国道
- 一般国道(事業中)

⑥ 新湘南バイパス



⑦,⑧ 東名高速道路



※1 出典：NEXCOデータ
 開通前：平成26年3月10日(月)～3月16日(日)の日交通量の平均値
 開通後：平成27年3月9日(月)～3月15日(日)の日交通量の平均値

※2 出典：NEXCOデータ
 開通前：平成27年3月1日(日)～3月7日(土)の日交通量の平均値
 開通後：平成27年3月9日(月)～3月15日(日)の日交通量の平均値

整備効果①

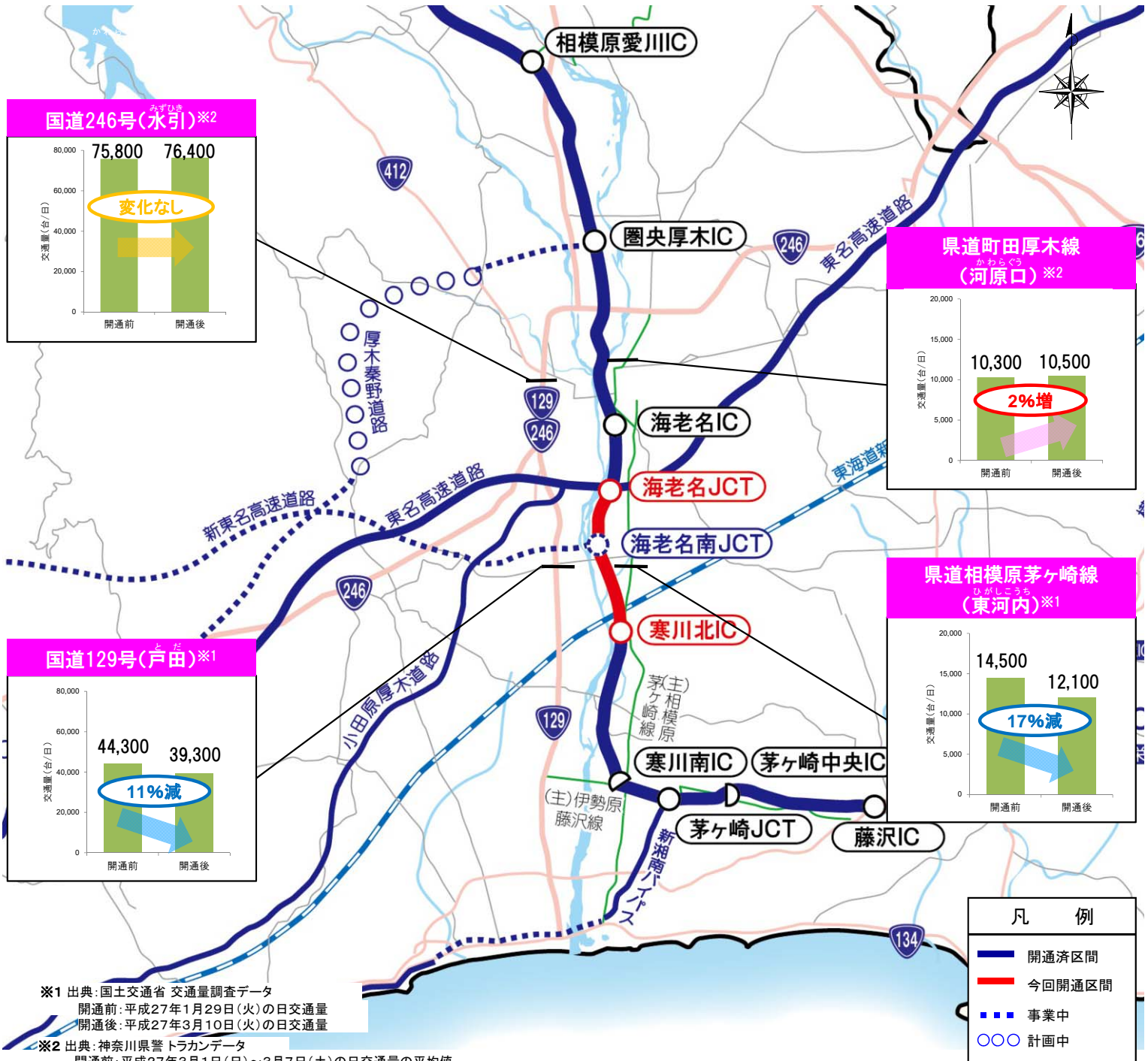
開通直後の交通状況

● 開通区間に並行する一般道では、国道129号の戸田および県道相模原茅ヶ崎線の東河内で交通量が減少しており、開通区間への転換が図られている。

国道129号 戸田：44,300台→39,300台[11%減]

県道相模原茅ヶ崎線 東河内：14,500台→12,100台[17%減]

今回開通区間の位置図



- 沿線に立地する企業では、圏央道の整備により輸送効率の向上や輸送の品質確保、所要時間の短縮・正確性向上などに期待していますといった声を頂いています。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

市町村名	製造品出荷額 (億円)		出典: 工業統計調査 (H24/H21)
	H21	H24	
日高市	1,271	1,579	1.24
入間市	2,823	3,872	1.37
羽村市	3,823	6,350	1.66
日の出町	529	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	203,373	1.03

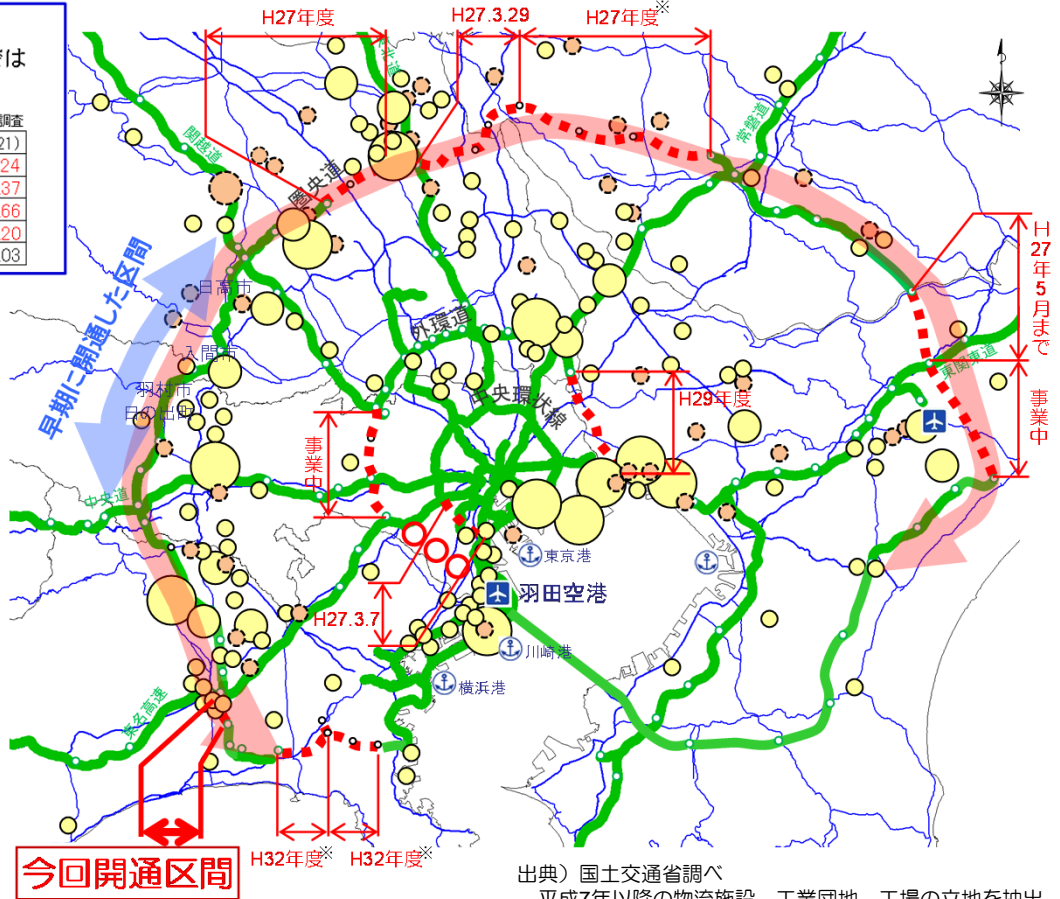
凡例

道路

- 高速道路
- - - 高速道路(事業中)
- 国道

企業立地件数

- 立地済み ○ 1~2件
- 立地予定 ○ 3~4件
- (H26年9月時点) ○ 5件以上



※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典) 国土交通省調べ
平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出

沿線に立地する企業の声

物流企業の声 (神奈川県内)



神奈川県内や東京都・埼玉県西部を中心に段ボール製品を配送しています。

相模原愛川IC～高尾山ICの開通で便利になったが、今回の寒川北IC～海老名JCTの開通により輸送効率が更に向上します。圏央道は路面状態が良く荷崩れが少ないのがメリットです。



主な取扱品は病院で使われる医薬品で、品質保持のため温度管理が必要です。

圏央道の開通による所要時間の短縮、正確性向上に期待しています。三環状の整備により、事故が発生した際などの選択肢が増えると思います。

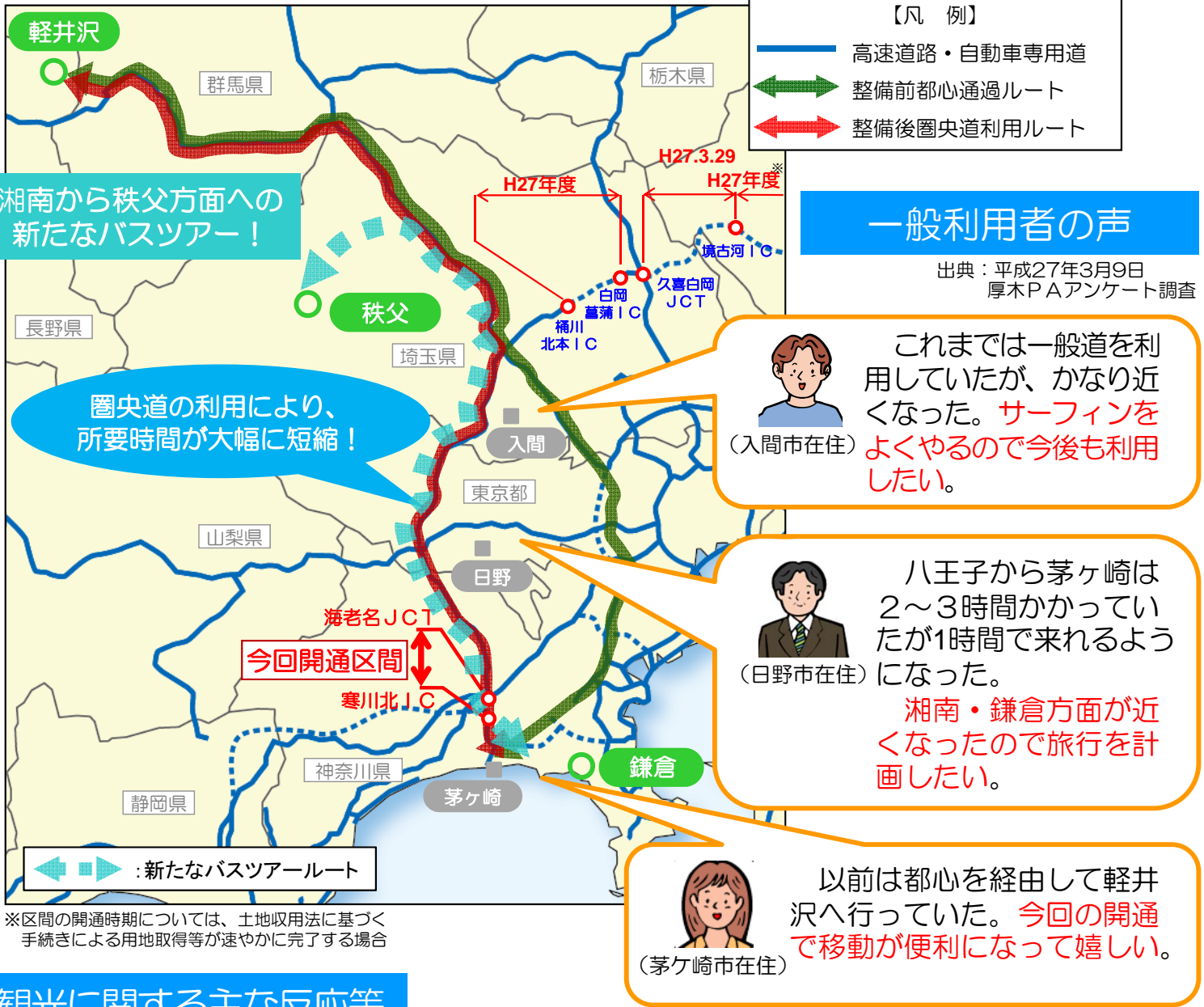
出典：平成27年3月13日 ヒアリング調査
(横浜国道事務所調べ)

整備効果③

地域経済の好循環 ～広域的な観光交流の実現～

- 圏央道の開通により、地域間の移動時間が大幅に短縮。
- 新たなバスツアーや記念フェアが開催されるなど、観光需要が喚起されています。

湘南エリアと内陸との移動性が向上



観光に関する主な反応等

● 圏央道の開通により新たなバスツアーを企画！

圏央道開通により湘南エリアから埼玉県までの移動時間が大幅に短縮され、お客様の関心も高まっているため、秩父方面への新たなバスツアーを企画しました。

出典：平成27年3月11日 旅行会社ヒアリング調査（横浜国道事務所調べ）

● 鎌倉の宿泊施設にて圏央道開通記念フェアを開催！

長野・群馬方面等から江の島や鎌倉へのアクセスが向上し、広域的な観光交流の実現により新たな観光需要が期待できると判断し、開通記念フェアを行っています。

出典：平成27年3月13日 宿泊施設ヒアリング調査（横浜国道事務所調べ）

開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化・環境改善、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。今回開通区間を含めて、現在までに約200kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路線名：首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

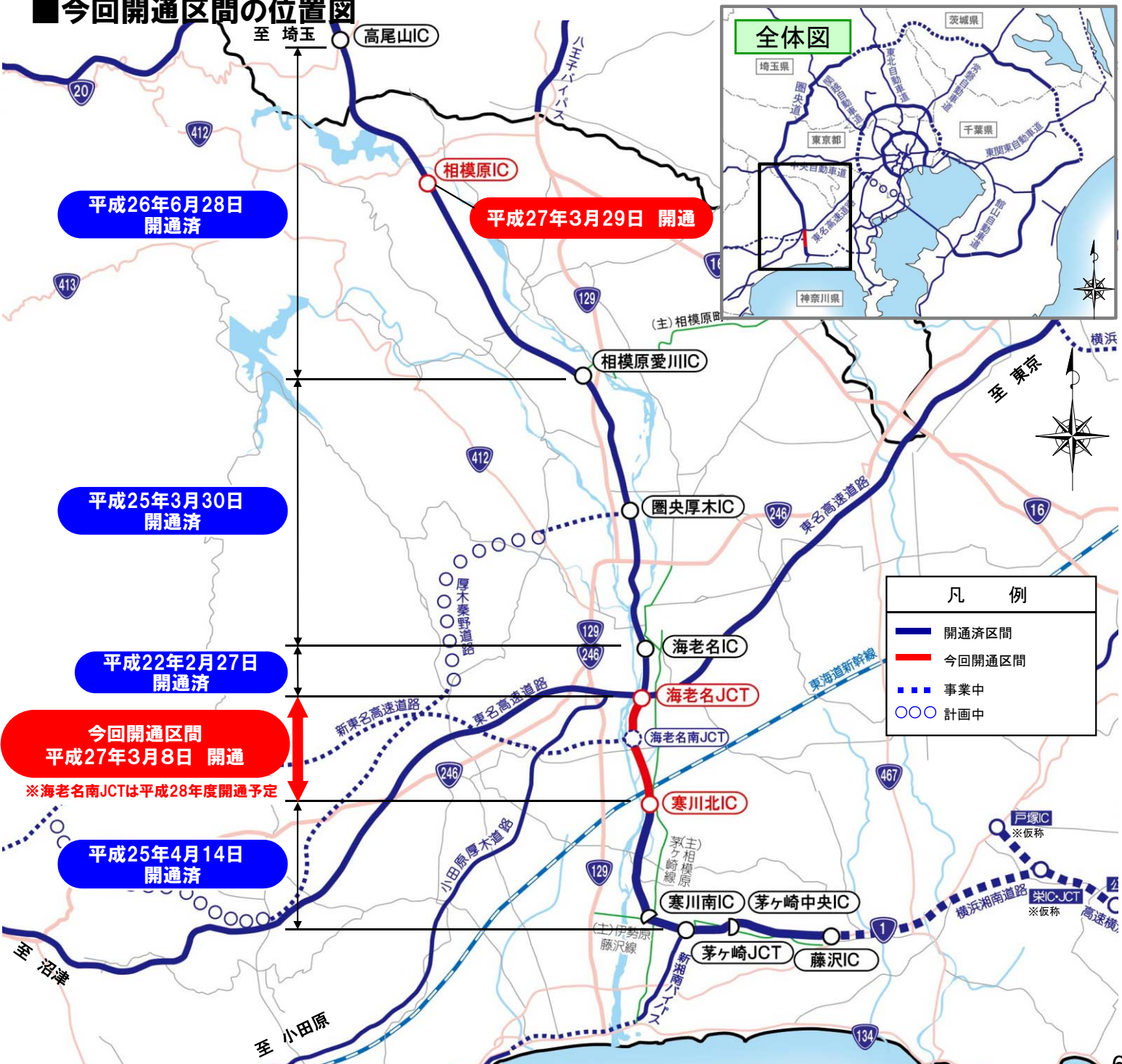
開通区間：寒川北IC（高座郡寒川町宮山）～海老名JCT（海老名市社家）
 （※海老名南JCTは平成28年度開通予定）

開通日時：平成27年3月8日（日）21時

延長：4.3km

車線数：4車線

■今回開通区間の位置図



- 圏央道や首都高速中央環状線が続々と開通し、首都圏を強化するネットワークを形成。
- 圏央道沿線には企業立地が進んでおり、物流の効率性の向上や観光の促進に期待。

【開通区間】

- 3月 7日 首都高速中央環状線（大橋JCT～大井JCT）
- 3月 8日 圏央道（寒川北IC～海老名JCT）
- 3月 29日 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC）
- 5月まで 圏央道（神崎IC～大栄JCT）

続々
開通へ

【平成27年度開通区間】

- 圏央道（桶川北本IC～白岡菫IC）※
- 圏央道（境古河IC～つくば中央IC）※

※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

■首都圏3環状の整備による主な効果

圏央道沿線に民間企業が進出

- ・茨城県の新規工場立地件数は全国1位（H26）
- ・開通済区間（関越～中央道）では製造品出荷額が増加（1.2倍～1.7倍）
- ・ネット通販配送センターなど、物流施設も多く立地

渋滞を避けることが可能となり、物流の効率性が向上

空港アクセスが向上し、国内・海外からの観光を促進

- ・三環状により、空港から1時間で行ける観光施設が大幅増（1.8倍）
- ・大型商業施設や国際会議場も便利になり、インバウンド観光を促進

ルート選択が可能となり、災害時等のリダンダンシーを強化

